

宮 若 市

# みやわが

## 市議会だより

若宮南小学校



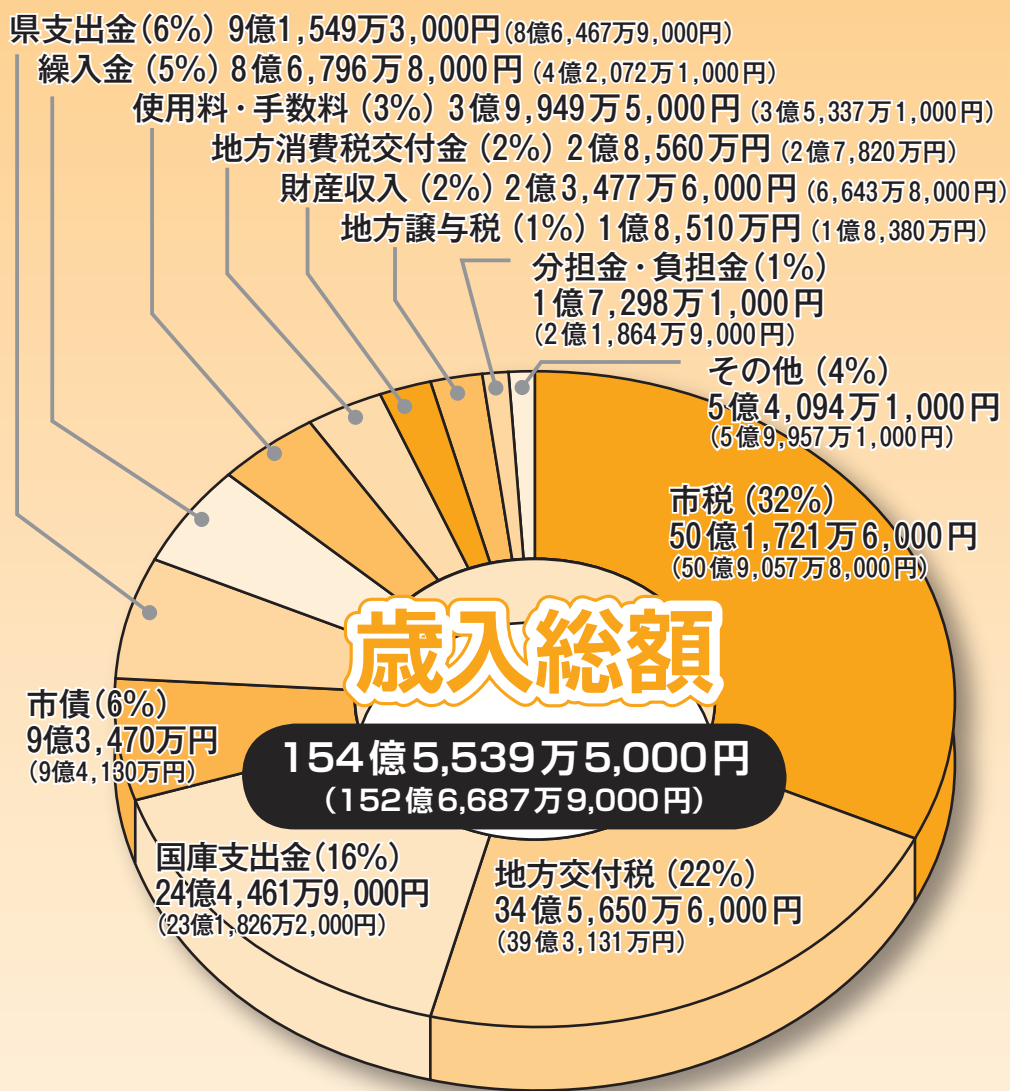
山口小学校

### ぴかぴかの 1年生

- 平成20年度予算決まる ..... P 2 ~ P 3
- 審議結果報告 ..... P 4
- 平成19年度補正予算 ..... P 5 ~ P 6
- 常任委員会報告 ..... P 6 ~ P 7
- 意見書 ..... P 8
- 市長報告 ..... P 9
- 一般質問 ..... P 9 ~ P 17
- ちょっと一言 ..... P 18

# 平成20年度予算決まる

平成20年第1回(3月)定例会で、平成20年度一般会計予算、水道事業会計及び7特別会計の予算が決まりました。



※歳入歳出のグラフの( )内の金額は平成19年度当初予算の額

## 提案理由

(平成20年度施政方針より)

本市の状況を見てみますと、平成18年度の決算では、市税収入が回復したことにより、経常収支比率など一定の改善が図られたところではありますが、国の三位一体改革の影響等による補助金、地方交付税等の減、高齢化に伴う社会保障経費の増大などにより、いまだ厳しい財政状況にあります。特に、本年度予算においては、地方交付税の減額とあわせ、自動車関連産業が増収の中、設備投資による減益に伴う市税の減収により、極めて厳しい予算編成を余儀なくされております。

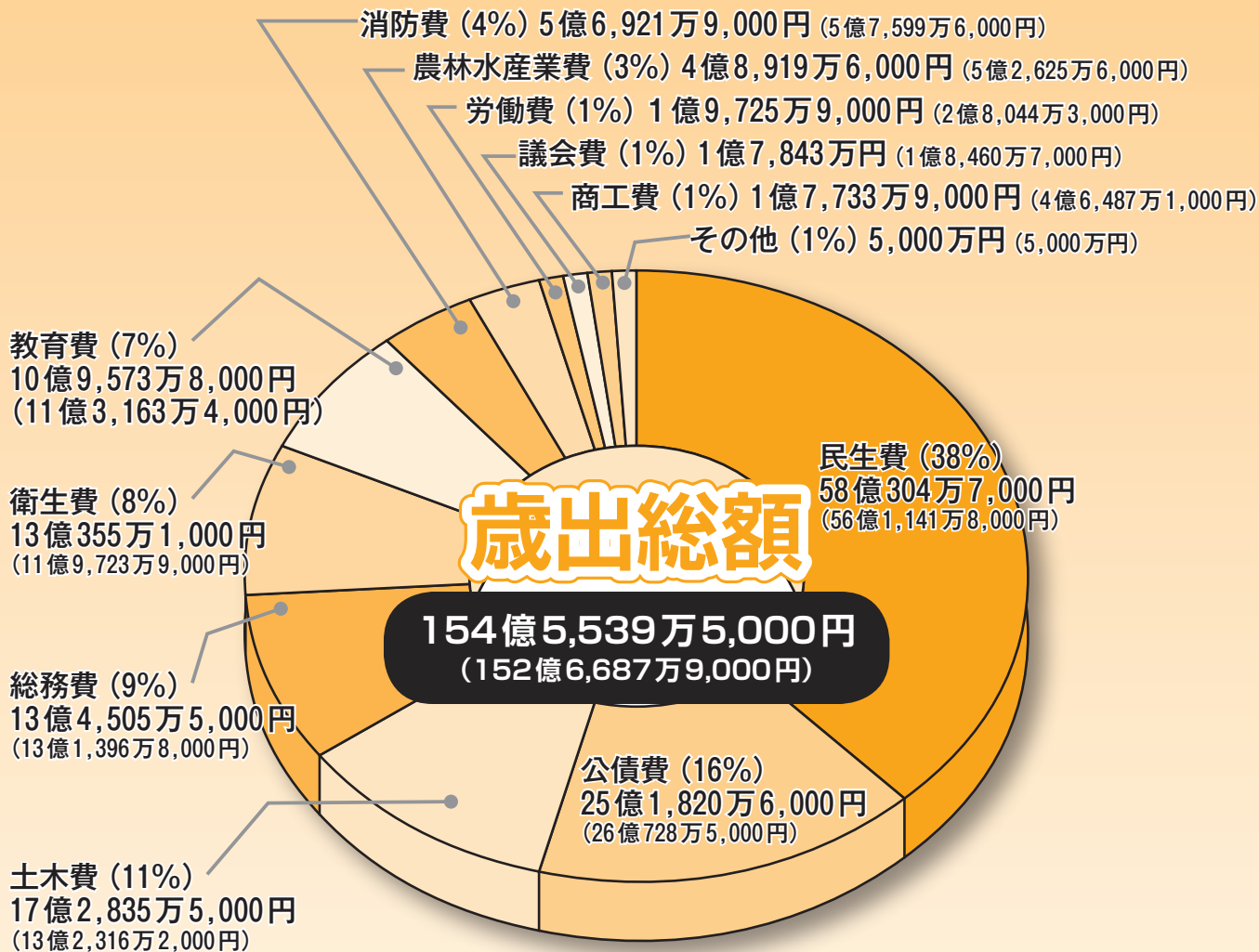
さらに本年度は、向う10年間

の本市の将来像と基本理念、そして5つの基本目標を定めた第一次宮若市総合計画の計画期間の初年度であり、今後、この計画に則り、様々な事業に取り組みることになって参ります。この計画期間においては、

- ・活気にあふれる自立したまちづくりプロジェクト
- ・教育・福祉先進のまちづくりプロジェクト
- ・地域が支えあう協働のまちづくりプロジェクト

を重点プロジェクトとして掲げ、企業誘致の促進、生涯学習拠点施設、若宮コミュニティセンターの整備などの主要事業に取り組んで参ることにいたしております。

※総合計画の詳細については、「第一次宮若市総合計画(概要版)」を御覧下さい。



## 特別会計など

特別会計名	20年度予算額	19年度当初予算額
国民健康保険	35億1,283万円	36億5,920万2,000円
老人保健	5億5,569万6,000円	46億8,327万4,000円
後期高齢者医療	3億8,344万4,000円	
住宅新築資金等	2,244万3,000円	2,487万7,000円
簡易水道事業	1億2,793万9,000円	1億825万4,000円
公共下水道事業	6億8,451万8,000円	5億5,110万5,000円
吉川財産区	159万1,000円	201万9,000円

水道事業会計	20年度予算額	19年度当初予算額
水道事業費	4億8,730万5,000円	5億759万2,000円

## 審査の方法・結果

平成20年度の各会計予算は、総務、教育民生、産業建設の各常任委員会に分け、審査をしました。各議案の結果については次のとおりです。

■ 宮若市一般会計予算

賛成多数で可決

■ 宮若市国民健康保険

特別会計予算

全員賛成で可決

■ 宮若市老人保健特別会計予算

全員賛成で可決

■ 宮若市後期高齢者医療

特別会計予算

賛成多数で可決

■ 宮若市住宅新築資金

特別会計予算

全員賛成で可決

■ 宮若市簡易水道事業

特別会計予算

全員賛成で可決

■ 宮若市公共下水道事業

特別会計予算

全員賛成で可決

■ 宮若市吉川財産区特別会計予算

全員賛成で可決

■ 宮若市水道事業会計予算

全員賛成で可決

# 審 議 結 果 報 告

議案番号	議案名	審議結果	備考
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	原案推薦	
議員提出議案第1号	道路特定財源の確保に関する意見書	原案可決	賛成16
議員提出議案第2号	地上デジタル放送の受信対策の推進を求める意見書	原案可決	
議員提出議案第3号	立て続く沖縄米軍の不祥事に対する意見書	原案可決	
議案第1号	民事調停の申立てについて	原案可決	
議案第2号	宮若市定住促進条例の制定について	原案可決	
議案第3号	宮若市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定等について	原案可決	
議案第4号	宮若市の証明事務等の窓口を鞍手山口簡易郵便局に設置する条例の制定について	原案可決	
議案第5号	宮若市後期高齢者医療に関する条例の制定について	原案可決	賛成20
議案第6号	宮若市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	
議案第7号	宮若市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	修正可決	賛成20
議案第8号	宮若市母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	
議案第9号	宮若市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	
議案第10号	宮若市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	
議案第11号	平成19年度宮若市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	
議案第12号	平成19年度宮若市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	
議案第13号	平成19年度宮若市老人保健特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案第14号	平成19年度宮若市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	
議案第15号	平成20年度宮若市一般会計予算	原案可決	賛成21
議案第16号	平成20年度宮若市国民健康保険特別会計予算	原案可決	
議案第17号	平成20年度宮若市老人保健特別会計予算	原案可決	
議案第18号	平成20年度宮若市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	賛成20
議案第19号	平成20年度宮若市住宅新築資金等特別会計予算	原案可決	
議案第20号	平成20年度宮若市簡易水道事業特別会計予算	原案可決	
議案第21号	平成20年度宮若市公共下水道事業特別会計予算	原案可決	
議案第22号	平成20年度宮若市吉川財産区特別会計予算	原案可決	
議案第23号	平成20年度宮若市水道事業会計予算	原案可決	

請願及び陳情		審議結果	備考
20年陳情第1号	県道飯塚・福岡線の早期完成を目指すための問題解消を求める陳情書	採 択	

# 平成19年度 補正予算

## 一般会計

(第4号)

今回の一般会計補正予算は、歳入歳出予算にそれぞれ2億4,024万1,000円を追加し、補正後の総額を157億3,940万4,000円とするものです。

## 特別会計

### ● 国民健康保険

#### 特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ9,194万5,000円を追加し、補正後の歳入歳出予算総額はそれぞれ36億9,712万3,000円とするものです。

### ● 老人保健

#### 特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ1億9,042万1,000円を減額し、補正後の歳入歳出予算総額はそれぞれ44億9,285万3,000円とするものです。

### ● 公共下水道事業

#### 特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ1,350万3,000円を減額し、補正後の歳入歳出予算総額はそれぞれ5億4,400万2,000円とするものです。

## 委員長報告

### ● 総務委員会

中島 健三

一般会計補正予算中、歳入全般、繰越明許費、地方債、歳出のうち総務費、民生費の一部、消防費について審査しました。

主なものとしては、歳入では、市税7億360万1,000円の追加と繰入金3億5,390万6,000円の減額、歳出では基金費2億6,926万7,000円の増額と情報システム費1,200万円を減額するものです。

#### 全員賛成で可決

国民健康保険特別会計については、歳入について主なものは、繰入金で8,072万5,000円の追加と国庫支出金で4,000万円の減額、歳出では保険給付費で8,922万6,000円の増額と保険事業費800万円を減額するものです。

#### 全員賛成で可決

老人保健特別会計についても審査し、

主なものとして歳入では支払基金交付金で2億8,504万6,000円の減額、歳出では医療諸費で2億2,917万9,000円を減額するものです。

#### 全員賛成で可決

### ● 教育民生委員会

野田 好記

一般会計補正予算中、歳出の民生費、衛生費、教育費について審査しました。

その主な補正の内容は、民生費において母子福祉費で事業費確定により減額、生活保護費の扶助費で受け入れ超過分を国庫に精算返納するために増額し、衛生費では老人保健対策費で事業費確定により減額、教育費の学校建設費で調査設計委託料を減額するものです。

#### 全員賛成で可決

### ● 産業建設委員会

松尾 幸主

一般会計補正予算中、歳出の合併浄化槽整備事業費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、災害復旧費について審査しました。

合併浄化槽整備事業費については、19年度は5人槽30基、7人槽39基、10人槽1基の、計70基分の補助金申請がありました。

労働費については、毛勝の多目的広場の計画変更等により測量調査委託料3

40万円と水道管布設委託料400万円を、事業費確定により工事請負費1,000万円を減額しています。

農林水産業費については、農地・水・環境保全向上活動支援事業負担金を190万9,000円減額しています。要因は、当初14地区505haで実施の予定が、10地区335.7haに留まったためです。また、競争力ある土地利用型農業育成事業と活力ある高収益型園芸産地育成事業に対する補助金を404万1,000円減額しています。

商工費については、2,350万円減額していますが、これは辺地債を活用し日吉地区に設置した移动通信用の鉄塔の、工法の見直しによる工事請負費2,000万円の減と機械・器具購入費200万円の減と、土地購入費150万円の減です。

また、企業立地対策費で工事請負費3440万円を減額しています。

土木費については、用地調査費で土地購入費690万円を減額しています。これは市内各所の未買収の土地に対し、地権者の相続関係等で年度内処理が困難と判断したことによります。

道路新設改良費では、下口・尾勝線道路改良工事の土地購入費3,600万円と補償費3,260万円が減額となっています。

河川費では、城地区・畑地区の急傾斜地崩壊対策事業費の確定に伴い負担金87

万円を減額し、畑地区において本年度は測量のみで補償まで至らなかったため、補償費50万円減額しています。

住宅費では、強制執行時運送委託料を206万3,000円減額していますが、これは住宅明け渡しの際の運送料10件分を予算組みしていましたが、行方不明4件を含めて6件に留まったためです。

災害復旧費についても、農林水産業施設補助災害復旧費、公共土木施設補助災害復旧費において、事業費確定に伴い減額をしています。

**全員賛成で可決**

公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について、歳入では、受益者負担金252万7,000円の増と、下水道使用料272万3,000円の減、事業費の確定に伴う一般会計繰入金277万7,000円と市債1,060万円の減額が主なものです。

歳出では、740万円減額していますが、主なものは流域下水道維持管理負担金の確定による600万円の減と、事業費の確定による工事請負費110万円、建設負担金600万円の減です。

**全員賛成で可決**



本城交差点

**常任委員会報告**



中島 健三

◆議案第2号 宮若市定住促進条例の制定について

本市への定住を促進するため、新たに土地及び住宅を取得した者に対し奨励金を交付するための条例を制定するものです。

**全員賛成で可決**

◆議案第3号 宮若市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定について

郵政民営化により、地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律について改正が行われたため、住民票の写し等を交付できる郵便局の指定について、議会の議決を求めものです。  
※磯光郵便局 笠松郵便局 長井鶴郵便局 吉川郵便局

**全員賛成で可決**

◆議案第4号 宮若市の証明事務等の窓口を鞍手山口簡易郵便局に設置する条例の制定について

市民サービスの向上を図るため、地域イントラネットを活用して、鞍手山口簡

易郵便局で住民票等を交付するための条例を制定するものです。

**全員賛成で可決**



鞍手山口簡易郵便局

◆議案第5号 宮若市後期高齢者医療に関する条例の制定について

後期高齢者医療保険料額の通知、その他保険料徴収に関する事項及び普通徴収の方法によって徴収する保険料の納期は、市町村の条例で定めることとなっており、条例を制定するものです。

**賛成多数で可決**

◆議案第6号 宮若市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律が平成19年8月1日から施行されたことに伴い、再度の育児休業をすることができるとする特別の事情の

追加、部分休業の承認要件の緩和等の改正等を行うものです。

**全員賛成で可決**

◆議案第7号 宮若市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

財政の健全化策として、適正な収入の確保を図るため、各種手数料の見直しを行うものです。

現行200円となっている住民票の写し等の手数料を7月1日より300円とする提案がされました。

この議案に対し、時期尚早である等のことから、施行期日を平成21年1月1日とする修正案が委員より提出されました。

**修正案について賛成多数で可決  
残る原案について賛成多数で可決**

◆議案第8号 宮若市母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

後期高齢者医療制度の施行に伴い、文言等の必要な改正を行うものです。

**全員賛成で可決**

◆議案第9号 宮若市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

後期高齢者医療制度の施行に伴い、医療保険各法に高齢者の医療の確保に関する法律を加えるとともに、重度障害者医

療の支給の文言の整理を行い、また、障害者自立支援法の施行に伴い、障害者施設等に入所した場合の特例を定めている条文の法律等の文言の整理を行うものです。

**全員賛成で可決**

◆議案第10号 宮若市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

健康保健法の一部を改正する法律の一部の施行に伴い、国民健康保険運営協議会の委員の定数及び一部負担金について改正を行うものです。

**全員賛成で可決**

**市議会会議録は閲覧ができます。**

平成19年第4回(12月)定例会の会議録ができました。

会議録は、議会事務局、情報公開室及び宮若市ホームページから閲覧することができます。

(ホームページの平成19年第4回会議録につきましては、準備が整い次第掲示します。)

宮若市のホームページアドレス  
<http://www.city.miyawaka.lg.jp/>

**産業建設**

**委員会**

松尾 幸主

◆議案第1号 民事調停の申立てについて

市営住宅の家賃滞納月数が3ヶ月以上の26名に対し内容証明郵便を送付し、6名が完納、9名が一部納付したため保留、指導にも応じない残る11名が申し立ての対象になります。

19年度の申し込み状況は、空き48戸に対し134件で倍率2.8倍です。

**全員賛成で可決**

◆20年陳情第1号 県道飯塚・福間線の早期完成を目指すための問題解消を求める陳情書

交通渋滞を避けて裏道を通過する車によって、地域住民が安心して歩行できないとの理由で、県道飯塚・福間線の早期完成を目指すための問題解消を求める陳情書が、宮田中・宮田南小校区関係自治会とPTA、若宮中・若宮小校区関係自治会とPTAから出されたものです。

**全員賛成で採択**



県道飯塚・福間線

# 3月議会で可決された

## 意見書

(要旨)

### 道路特定財源の確保に 関する意見書

現在、地方においては、通学路の整備などの安全対策、さらには救急医療など市民生活に欠かすことのできない道路整備を鋭意行っている。また、橋梁などの道路施設の老朽化が進んでおり、その維持管理の費用も年々増大している。

仮に現行の道路特定財源の暫定税率、さらに地

方道路整備臨時交付金制度も廃止された場合には、合わせて1兆6千億円規模の減収が生じることとなる。

本市では3億7千万円規模の減収が生じることとなり、厳しい財政状況の中で、本市の道路整備は深刻な事態に陥ることになる。さらには、危機的状況にある本市の財政運営を直撃し、市民生活にも深刻な影響を及ぼしかねないことにもなる。

よって、国においては、現行の道路特定財源の暫定税率を堅持し、関連法案を年度内に成立させるよう強く要望する。



建設中の下口橋

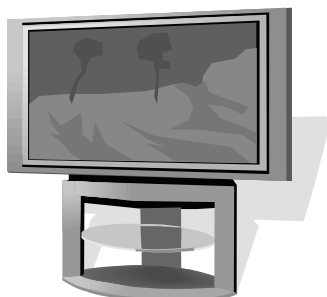
### 地上デジタル放送の受信対策の推進を求める 意見書

平成20年度予算案に計上された地上デジタル放送関係予算の着実な執行と併せ、左記事項について、政府を挙げた取り組みをされるよう強く求めます。

1. 視聴者側の受信環境整備に伴う負担軽減のための方策を強力に進めること。また、経済的弱者への支援策について、早急に内容を検討・決定すること。
2. 「地域相談・対策センター」を各県毎に整備し、アウトリーチ(援助などを通常行われている限度を超えて差し伸べようとすること)のサービス体制を整備すること。
3. デジタル中継局整備や辺地共聴施設整備について、地方自治体の過度の負担とならないよう放送事業者との調整を図るとともに、自

治体負担の場合の支援策について新設も含め拡充すること。

4. 都市受信障害については、各地域の実情を把握の上、良好な受信環境の整備を図り、情報格差が生じないように努めること。



少女暴行事件が発生し、度重なる暴行事件に対し、沖縄県知事をはじめ沖縄県議会や各自治体から直ちに強い抗議と再発防止の申し入れが行われた。綱紀粛正や再発防止が約束されておきながら、そのことが全く守られておらず、事件が続いていることに強く抗議するものである。

1. 在日、在沖米軍の綱紀粛正の徹底と、事件、事故の発生を無くすことを確認すること。
2. 日米地位協定の見直しをすること。
3. 米軍基地の縮小と兵力の削減を推進すること。

### 立て続く沖縄米軍の不祥事に対する意見書

去る2月10日、またしても沖縄米軍兵士による

### 訂正

2月1日号の「みやわか市議会だより」において、左のとおり誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

#### 1. P9 篠原議員の一般質問

「文化財、史跡等の総合的積極的な活用、啓発と管理について」の問いに対する回答において、「答 市長」となっておりますが、「答 教育長」の誤りでした。

#### 2. P12 松井議員の一般質問

「市の教育環境等を問う」で掲載している表の表題が「全国統一学力テスト結果」となっておりますが、「学力向上プロジェクトE」の事業の中で、宮若市が実施した児童生徒の学力調査の結果(平成18年度、宮田地区)の誤りでした。



# 市長

## 報告

### 1 市民憲章並びに市の花及び木について

公募した市民憲章並びに市の木及び花について、これまでの経過と制定した内容を議会に報告するもの。

市木 桜  
市花 彼岸花



### 2 第一次宮若市総合計画（前期基本計画・実施計画）について

第一次宮若市総合計画基本構想に基づく「前期基本計画（5年間）」と「実施計画（3年間）」を策定

したので、議会に対して報告を行うもの。

### 3 公的資金補償金免除線上償還について

公的資金に係る補償金免除線上償還については、各自治体が財政健全化計画等を策定し、国から線上償還の承認を受けた後、議会等に公表することが条件とされている。本市では、平成19年12月に財務大臣及び総務大臣から当該計画の承認がなされたため、議会に報告を行うもの。

### 4 火葬場建設について

現在の予定地である原田地区に火葬場を建設する取り組みを行うっていくことを議会に報告するもの。

### 5 民事調停の報告について

平成19年9月議会において、議決を得た民事調停の結果について報告す

るもの。

### 6 ドリームホープ若宮利用組合の法人化について

産地形成促進施設の指定管理者である「ドリームホープ若宮利用組合」が、農事組合法人として成立したことと、また、市へ指定管理者団体の「変更申請書」が提出され、これを受理したことを議会に報告するもの。

### 7 宮若市スポーツ振興基本計画について

スポーツ振興法の規定に基づき、本市におけるスポーツの振興を計画的に推進するためスポーツ振興基本計画の策定したので、その内容を議会に報告するもの。

### 8 グリーン産業(株)跡地における支障除去等事業について

市内金生地区の産業廃棄物不法投棄による廃油の除去と土壌汚染に対する福岡県の取組み等について、報告するもの。

## 一般質問

### 問 荒廃森林について



和田 善久

答 市長

本市におきましても、森林整備の必要性からこれまで取り組んで参りました市独自の事業を継続し、荒廃森林はもとより、侵入竹林も含め森林整備を行って参りたいと考えています。

また、民間でそういう事業を準備しているということも聞いていますので、じっくり話を伺い、支援したい。

県は4月から森林環境税を導入するが、10年間の暫定事業であり、林業再生への抜本策が不可欠である。  
放置竹林の荒廃に悩む自治体は年々増えている。市内放置竹林面積450haを余計物扱いせず、地域振興の足がかりとする発想転換をすべきである。  
先進地事例では、官民一体となつて、すべき事業を行い、高い付加価値を引き出している。  
民間活力を支援すべきではないか。市長の考えを聞きたい。

むべきと思うが。

答 市長

暫定税率が廃止になったと仮定した場合の本市の影響額を示した道路特定財源を確保することについて、国や県に積極的に要望していくことを市民の皆様にも周知する内容となっております。

ご理解をお願いします。ご理解をお願いしますため広報紙に掲載しました。

### 問 広報「宮若生活」の内容について

広報に掲載されている道路特定財源暫定税率の記事において、政治要素を含む記事の掲載は慎



放置竹林

## 問 林業の振興について



吉崎 順一

林業の現状を把握しているのか。

**答 市長**  
森林の所有者は549人で、その8割が5ha未満の小規模所有者であり、高齢化や木材の価格の低迷に伴い自己努力だけでは良質な木材の生産は困難な状況で、今後は森林施業を計画的、効率的にするため、森林組合や所有者等との連携を強化し、各種事業を積極的に取り組み、計画的な整備を図っていきます。

**問**  
要望が多くされている軽微な道路整備を問う。

**答 市長**

各自治会から多種多様な整備要望は18年度と19年度の年間平均で約280件出されており、軽微な道路整備等の対応は地元関係者の協力を得て対処しています。

限られた予算の範囲で計画的に整備を行うとともに、地元で行っていただけの軽微な道路整備等については、材料支給をしていきたい。



## 問 市内商業者の活性化について



弓削田 敬

現在、本市の商店街の店舗数と空き店舗数は、また、市内商店街の必要性、現状認識と今後の支援、活性化策は。商工会議所、商工会への補助金の根拠と活用事例は。今までの商店街関係団体と協議した活性化策は。

**答 市長**

店舗実態は太蔵地区店舗数155、空店舗102、福丸地区店舗数65、空店舗数8です。

また、今まで協議した活性化策として、ソフト面ではまちづくり会社設立準備会の立上げ等、ハード面では地域振興券交付事業等です。

会議所等への商工振興助成金等の根拠は、経営管理の指導及び金融支援等、まちづくり活性化等の事業支援等に活用しています。中小企業育成事業補助金は、中小企業育成やまちづくり活動に対する助成で、商業団連合会振興助成等を助成しています。

商業活性化は、本質的には商業者の自助努力(やるき)が重要ですが、会議所、商工会を通じて引き続き支援いたします。

商店街中心部の街並みを再生するには、行政・商工団体・市民が同じ目線で話し合う機会を創出することが肝要である。中心市街地活性化協議会「まちづくり会社」を設立してはどうか。

**答 産業建設部長**

会議所・商工会・商業団連合会と協議し、設立に向け努力します。

**問**  
下水道事業について

現在の下水道の接続状況は。

**答 市長**

対象地区は白百合団地及び龍徳地区の一部で、面積約32.8haです。接続状況は3月7日現在、対象家屋軒数383軒中接続軒数87軒で、接続率22.7%です。

接続率低下の原因は、また、その現状を打破するための解決策は。

**答 下水道課長**

供用開始後間もないことや各家庭の経済的状況

等が要因ではないかと考えています。また、対象地域住民の方々へは、説明会を開催し、接続のお願いをしています。

当局は市内金融機関と連携し、低利で借入が可能な融資を斡旋しているが、現在の相談件数は、融資の実績は。また、年金高齢者や子育て世代の家庭への負担軽減等の施策を考えているか。

**答 下水道課長**

本市では、各金融機関との間で協定書を締結し、低金利で工事資金の借入ができるよう講じています。しかし、現状の制度による金融機関への相談や利用はありません。また、受益者負担金は、65歳以上の世帯を対象に分割納付の期間を申請により延長する措置をしています。が、子育て世代の方々に対する施策は講じていませんが、今後の説明会等で状況を把握し、必要に応じて柔軟に対応してゆきます。

## 問

# 特定健康診断・特定健康指導について



栗上 光則

国のメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）対策の柱として、企業の健康保険組合や国民健康保険を運営する市区町村などに採用が義務付けられ、2008年4月よりスタートする特定健康診断とは、どのような目的の健診なのか。

## 答 市長

高齢化の急速な進展に伴い、疾病構造も変化し、がん、心臓病、脳卒中などの生活習慣病の割合が増加し、死亡原因でも生活習慣病が約6割を占め、医療費に占める割合も国民医療費の約3割となっています。



特定健康診断・特定健康指導の目的は、生活習慣病のおおもととなる内臓脂肪症候群、いわゆるメタボリックシンドロームや、その予備軍となる割合が高いとされる40歳

から74歳までの人を対象に、腹囲などの身体計測や血液検査などの特定健診、その結果で生活習慣病の発症リスクの程度に応じ、保健師による特定健康指導を実施し、早期発見・改善することにより、増え続ける生活習慣病の予防徹底と、医療費の抑制を図るために行うものです

## 問

# 安全と安心のまちづくりについて



関岡 精一

本市の住宅火災警報器設置等の防火体制は進んでいるのか。

## 答 市長

消防に関する事務については、消防団に関する事務並びに水利施設の設置、維持及び管理に関する事務を除き、直方鞍手広域市町村圏事務組合に事務委任をいたしております。

住宅用火災警報器の設置については、直方鞍手広域市町村圏事務組合火災予防条例において、その設置が義務化されており、新築住宅については平成18年6月より、既存住宅については平成21年

5月末までに設置しなければならぬこととされています。本市の市営住宅については、年次計画を立てて設置を進めており、本年度は390戸に設置することとしています。

本市の救急医療体制はどのような状況にあるのか。

## 答 市長

救急現場から医療機関に搬送するまでの間に必要となる高度な医療知識の習得に努められており、現在、救急救命士の資格取得者数が12人となっています。

「初期救急医療」については、休日は直方鞍手医師会による在宅当番医制で対応し、休日・土曜日の夜間及び毎月第2週の日曜日の昼間については直

方・鞍手広域市町村圏事務組合にて運営しております休日等急患センターでの対応となっています。

「二次救急医療」については、休日・夜間は、二次救急医療機関に指定されている直轄地域の6か所の病院の当番制度によって対応しています。

「三次救急医療」については、直方・鞍手医療圏においては整備されていませんが、県内に6か所に設置されている救急救命センターの内、飯塚病院（救急救命センター設置）や北九州市立八幡病院（救急救命センター設置）などへ搬送しています。



## 問 市教育奨学金制度の充実について



藤嶋 厚

実情はどうなっているのか。

### 答 教育長

本制度については、宮若市奨学金貸付基金条例により、経済的な理由等で、就学困難と認められる学生・生徒に対して貸付を行う制度です。

貸付額については、入学金支度金として高等学校で4万円、大学で5万円となっています。

また、月額の貸付金では、高等学校が公立で月額1万1,000円、私立で月額1万5,000円、大学では、公立で月額2万円、私立では、月額2万5,000円と

なっています。

平成19年度の貸付実績としては、高等学校が5名の奨学生に対して、年間91万円、また大学では2名の奨学生に対して、年間65万円の貸付を行っています。

今後の貸与条件の向上について。

### 答 教育長

本市では、宮若市奨学金貸付審議会において、奨学金借入申込書及び学校の推薦書を基に選考していただき、奨学生の採用決定をしており、また、貸付金額につきましては、財団法人福岡県教育文化奨学財団が実施する奨学事業や近隣市町村の奨学金制度の実施状況等を勘案しながら、検討していきたいと考えています。

## 問 広域消防若宮出張所はどうするのか



松尾 幸主

消防士3名の欠員で出動に支障はないのか。

### 答 市長

一時期、職員の病気休暇により欠員が生じ、8人

と5人での2班、13人体制でしたが、その後の職場復帰に伴い、3月5日から通常勤務体制に戻っていると聞いています。

なお、その間は、消防本部においてバックアップ体制をとっており、特に支障をきたした事態には至っていないとの連絡を受けています。

若宮コミュニティセンターの建設に伴いその後移転を含めた考えは。

### 答 市長

現在、福岡県直方土木事務所で、福岡・直方線の拡幅工事を計画されており、本年度中に具体的な計画が示されると聞いています。

今後は、県の計画が明確になった段階で、速やかに構成市町村間で具体的な協議を進めていきたいと考えています。



若宮出張所

## 問 特産品の普及に「営業課」を

行政として積極的に営業すべきでは。

### 答 市長

現在、宮若市において

は、米をはじめ、焼酎の「若造」、トルコギキョウ、菊などの花卉、ぶどう、いちご・いちじく等が生産されていますが、ブランドとしての知名度という点では、今なお低い状況です。

市では、JAを通して、ブランド化をも想定した補助金交付を行っているものの、販路拡大の普及推進を図る具体的取り組みに苦慮しており、すばらしい特産品が数多くあるにもかかわらず、普及しきれていない現状です。

特産品の普及を所管する「営業課」は想定していませんが、現状の組織体制の中で、専門的知識を有する人材確保等の取り組みを検討したいと考えています。今後は、直売所をはじめ、認定農業者等の各種組織や団体等にも働きかけながら、生産者及びJAとの連携を強化して、価値ある農産物の販路拡大を図りたいと考えています。

## 問 歴史資料館の建設について



問地 陸人

三十六歌仙絵や犬鳴御別館をはじめ、貴重な古文書を公開し、市の歴史・文化を学んでもらうためにも建設してはどうか。

**答 教育長**  
現在、図書館を核とする生涯学習施設や若宮コミュニティセンターの整備について精力的に取り組んでいるところです。今後、市が有する公共施設の有効的な利活用を図る中で検討したいと考えています。

## 問 芸術村の創設にCSN

脇田温泉を中心に観光に訪れているが、観光客の集客を図るためにもどうか。

外から多くの方が訪れてはいます。これらの観光客については、脇田温泉を中心とした宿泊客で集客することが重要であると思っておりますが、芸術村の創設までは考えていません。今後、計画している農業観光センターの整備を図ることにより、新たな観光の振興に努めることが必要であると考えています。

**答 市長**  
本市は、温泉や歴史遺産、豊かな農産物、自然の渓谷美等、多くの観光資源に恵まれており、ほたる祭や日本一の大門松祭等の各種イベントの開催を通して、多くの来訪者があります。

また、トヨタ自動車九州の工場見学等の産業観光にも、市内



犬鳴御別館復元模型

## 問 市政に臨む姿勢について



篠原 茂

任期中間点でのこれまでの取り組みの総括を問う。

**答 市長**  
市長に就任して2年が経過しようとしています。

この間、議会議員の皆様をはじめ、市民の皆様方の温かいご理解と協力の下、住民福祉の向上を基本に、新市建設の基礎づくりと併せ、様々な行政課題の解決に向けての取り組みを行って参りました。

市のグランドデザインと言える宮若市総合計画の策定など、この2年間の市政運営については、本市発展の基礎固めを概ね順調に進めてきたと考

えています。

市民との対話について。

**答 市長**

市長に就任以降、これまで様々な団体やグループの会合に出向き、市の現状や今後の課題について話をする中で、市政に対する貴重な意見を拝聴して参りました。

本年度策定した第一次宮若市総合計画においても、協働のまちづくりは主要課題と位置づけて、市の現状や課題を市民の皆様と共有することを目的に、平成20年度は、5月中旬から小学校区を基本に「まちづくり座談会」を行ってまいります。

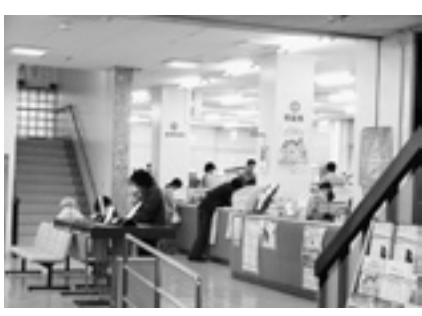
また、新たな試みとして、行政の事業や施策を基本に各課においてメニューを作成・公表し、依頼があれば担当職員が出向いて内容の説明をさせ

ていただく「まちづくり出前講座」を実施し、市民の皆様との対話に努めます。

信頼性の高い行政運営について。

**答 市長**

市の発展と市民福祉の向上を目指し、これまで同様市民との対話を図りながら、私の政治信条である、公平、公正、透明、れん潔を旨に、自治体のトップリーダーとして先頭に立ち、市政運営の施策の実現に向け、職員一丸となって信頼性の高い行政運営に努めてまいります。



# 問 本市における観光推進計画について



中尾八ギ子

百合野にある貝島山荘を活用する計画はあるのか。

**答 市長**  
本市の観光推進計画については、観光の現状と課題、観光振興の基本方針、観光戦略と施策、実現に向けたアクション等について、観光協会等の関係機関とも連携を図りながら策定することになっています。  
百合野にある貝島山荘の活用については、新たな観光資源として、可能性があるかどうか調査したいと考えています。

# 問 スマートインターチェンジについて

近々に整備を考えておられるのか。

**答 市長**  
国土交通省では、既存の高速自動車国道の有効活用や地域生活の充実、地域経済の活性化を推進するために、建設及び管理コストの削減が可能なスマートインターチェンジの導入を進めているところですが、本市といたしましても国の施策等を踏まえながら、現在、福岡県に実施の可能性について、調査・研究をお願いしているところですが、

# 問 定住化政策について

本市に提供できる土地があるのではないかと。

**答 市長**  
平成19年度から市役所内にプロジェクト会議を編制いたしまして、普通財産等の現状を調査し、定住促進のための活用も視野に入れながら市有地の処分に至る基本的な整理方針をとりまとめている。

# 問 定住化促進について



川口 誠

定住化促進条例をどのような形で、市民や立地企業等の従業員に対し、啓発活動を行うのか。

**答 市長**  
市民へは、広報等で積極的に周知し、立地企業等についてもパンフレット等を作成し、職員が持ち回って周知していきまします。  
また、本市の空き家バンクに物件を掲載している不動産会社等をはじめ、市内の不動産業者にも事業内容を周知し、アピールします。さらに、市外の方々に対しても、ホームページ等で情報発信していきます。

# 問 毛勝地区多目的広場について

いつごろ完成予定なのか。

**答 教育長**  
平成20年度に整備基本計画を策定する中で、新たに取得した2万坪の土地も含めた整備をしたいと考えています。

**答 教育長**  
スポーツ振興計画では、「西鞍の丘総合運動公園」と異なる施設整備を図る」と明記しているが、どのように考えているのか。  
毛勝では、2万坪の緑化を図ったウォーキングコースや公認規格に対応した野球場等を中心とした施設整備が必要と考えています。いずれにしても、整備基本計画で具体的な施設整備を位置づけていきたいと思います。



貝島山荘  
「北部九州を中心とした炭鉱関連施設に関する建築学的研究成果報告書」より

# 問 市民サービスの現状と今後について



中島 健三

情報化による市民サービスの効果はどのようなか。また、今後の展開は。

**答 市長**  
 行政事務事業の効率化については、システム統合など効率よい新システム開発を行っています。今後の取り組みとしては、ラストワンマイル対策として、市内全域のプロードバンド環境の整備促進をさせ、地域における情報格差の解消を図るため、通信技術等の調査研究や民間通信業者との協議を実施していきたいと考えています。

# 問 「文化財」をまちづくりのよきものに活かすつもりか

文化財を継承していくための取り組みについて。

**答 教育長**  
 文化遺産については、それぞれの性質に応じて保存、管理を行っております。石炭記念館の現状と今後について  
 ①貴重な資料の整備は  
 ②NPO法人「ムグンファの会」から要請されている情報公開について  
 ③石炭記念館の本格的活用について

**答 教育長**  
 ①については、貝島炭砒が所有していました機器、資料等の収集を行い、

それを区分し、また石炭採掘で使用した機器等については陳列しているところですが。

②については、貝島炭砒より収集した資料の貝島炭砒の朝鮮半島出身者の雇用記録について、開示請求が2度行われました。

これらは特定の個人を識別することができる情報であることから、非開示とし、その後、この資料については、学術的な資料であることから、九州大学に寄贈しました。  
 ③については、昭和52年に開館しており、今後も現状を維持しながら、歴史的、文化的な財産としての管理運営していきたいと考えています。



石炭記念館

# 問 誘致企業のもたらしたものに



吉野 英史

税金の今後の見通しについて。

**答 市長**  
 本市の税収については、自動車関連産業を中心とする企業立地により、現在まで大きく増加しているところですが。  
 現在、自動車関連産業は、ほぼ生産能力である年間43万台の生産体制に入っており、このまま推移すれば増減はあるものの、現在の税収をほぼ確保できるのではないかと考えています。

今後、企業誘致などを図り、税収の確保に取り組んでいきたいと考えています。

進出企業による地元雇用の現状と対策について。

**答 市長**  
 本市の誘致企業は37社であり、平成19年4月1日現在の従業員数は約1,800人で、その内、地元の雇用につきましては、約1,400人です。対策としては、企業への優遇措置として制定している「宮若市工場等誘致条例」において、市内居住者を雇用する旨の規定を設けています。

今後、従業員の雇用については、企業に対して、地元を優先して採用していただくようお願いしていきます。  
**幹線道路における交通渋滞の対策は。**

**答 市長**  
 宮田団地周辺をはじめ、市内各所において、一時的に交通渋滞が発生していることは承知しています。

今後も、県道飯塚・福岡線をはじめとする県道整備及び市道勝野・長井鶴線の整備についても、福岡県と充分協議し、早期完成に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

# 問 ごみ袋の見直しについて

ごみ袋の料金の値下げを検討できないか。

**答 市長**  
 ごみ処理について、相当額の一般財源を負担いたしておりますので、現在のところ、ごみ袋料金の見直しは考えておりません。

## 問 市政批判の 住民運動について



茅野 勝

また市内に出回っているピラ等の内容について伺う。

**答 市長**  
昨年9月議会以降の各議会時において、宮若市芹田24番地1に事務所を置く「政治結社 日本天照会総本部」による街宣車での街宣がなされております。

のことを知ったとする「市民の声を市政に届ける会」と称するところから市内各世帯にピラが配布されていますが、街宣とピラ等の内容は、ほぼ同一の内容です。

これらの内容の1つは、合併前の旧宮田町特別職に対して支給された退職金等の給与等の支給について、勤務実態からその支給は公金不正支出・公金横領であるとの申出ですが、本給与等は旧宮田町において、特別職に関する各条例等の規定に基づき、正当に支給されたものであると考えています。

6月議会において議員の皆様にご報告し、ご承認いただいたとおりであり、何等不明瞭なことはないものと考えています。

議会（議員）と議決権に対してどう思っているのか。

**答 市長**

議会は地方公共団体の意思決定機関であり、地方公共団体の意思は市民に代わって議会によって決定されるもので、地方自治法第96条に規定される事件及び条例で定める議決要件については、地方自治法第179条及び第180条の規定に基づき、専決処分をしなければならぬ等、特別な場合もありますが、議決権は最も本質的で基本的な議会の権限であると考えています。

また、ピラ等については、本職及び市議会議長宛に本市芹田104番地1に事務所を置く「西日本環境みどりの会 会長 村上照親」氏を差出人名とする質問書、並びに同会から全市職員宛に郵送された文書、またこれら

## 問 市が発行している 広報について



松井 政信

市報・宮若生活の役割を伺う。

**答 市長**  
まちづくりの全般についてのお知らせ・市政運営に対するご理解と協力を推進するため、また地域バランスに配慮しながら地域やひとの魅力について掲載しています。



宮若生活

高齢者に対する配慮はされているのか。

**答 市長**

50歳以上は、1万5,435人で65歳以上は8,521人であり、限られた紙面で文章表現やレイアウトなどに工夫をしていますがさらに、どなたにも読みやすくなるよう努めます。

予定地住民との協定内容を伺う。

**答 市長**

宮田若宮衛生施設組合が、原田地区と協定書に基づく48項目の覚書を取り交わしていましたが、合併後、条件整備を含めた事業計画の見直しを行い、道路計画・環境整備における公園化や、集会所の建設は協議を重ね、おおむね合意を得ました。

建設に係わる全ての費用を示せ。

**答 市長**

本体工事は6億円で、他に外溝・条件整備など別途工事を予定しており、本市の実情に見合った適正規模の施設建設に取り組みます。

## 問 火葬場の建設について

建設計画を伺う。

**答 市長**

予定地の原田地区と協議が整いましたので、20年度に調査・設計し、21年度から着工する計画です。



## 問

# 本市における 観光推進計画について



荒牧 基三

地域における文化財の整備を図り、それを以って観光資源になるのではないか。

施するとともに、竹原古墳、損ヶ熊古墳の温湿データを記録する機器の設置を計画しているところ  
です。

平成20年度に文化財保護基本計画を策定するよう  
にしており、その基本計画の中で、具体的な文化財の整備・保存について位置づけたいと考えて  
います。

商工観光振興審議会から出された報告書の提言の取り扱いについて。

### 答 市長

若宮町商工観光振興審議会の報告書につきまして

それぞれの文化財の整備につきましては、平成18年度に竹原古墳施設における漏水防止工事、平成19年度は駐車場の舗装工事を実施しています。また、平成20年度には、県指定である損ヶ熊古墳の墳丘保存整備工事を実

充やイベントの開催等について、報告書が作成提出されたものです。

その報告書については、旧若宮町の観光振興施策について提言されていますので、本年度に予定いたします。宮若市観光推進計画の策定の中で参照していきたいと考えて  
います。

文化財保護計画の基本的な方針について。

### 答 教育長

本市には多くの文化財が存在しており、これらの文化財を永く後世に伝えていくため、文化財の保護あるいは整備について市民の意見やアンケート等を聴取しながら、文化財保護基本計画を策定し、今後まちづくりを推進していきたいと考えて  
います。

竹原古墳



## 問

# まちづくり支援自動販売機の 設置について



谷口 重隆

まちづくり支援の自動販売機を本市に設置して  
はどうか。

寄付金をまちづくりのイベントや文化事業に活用してはどうか。

### 答 市長

合併後で一番のシンボルである市章を取り入れたシンプルなデザインを予定しています。

また使途については、まちづくり事業の一助とすることが目的とされているので、総合計画に位置づけた事務事業に充当します。

### 答 市長

筑豊地区の他の自治体にも導入されており、売り上げの2割が自治体に寄付される仕組みとなっています。

自販機の設置場所に西安の丘総合運動公園や長井鶴交通公園を考へてはどうか。

### 答 市長

市役所の敷地内に2ヶ所、その後は新たに建設を予定している施設をはじめ、市内の公共施設でも積極的な導入に向け検討していく考えです。

自販機に、観光案内やシンボルのイメージアップを図ってはどうか。また、



卒業式

ちよと一言

◆「議会だより」はいつも読んでいます。市民として興味があり、選挙の時の判断としても、2年後には、市として2回目の選挙があり、市議の定数24名が20名になります。本当に市民の事を考える人を選びたいです。

50代 男性

◆議会だよりを発行していますが、その際市民の意見も（質問に對しての）あると思います。市民はどう思っているかを議会だよりに取り上げて下さい。少しでも財政が豊かになる事を願っています。

市民が自分達で出

来ることは全部、市行政にお願いするのではなく、市民の一員として組合で話し合い、何か良いアイデアを出し合って行ける方向にしていってら良いと思います。

60代 女性

議会広報特別委員会より

今回、「議会だよりアンケート」とともに、一般質問に関する貴重なご意見・データをいただきました。

これらにつきましては、議員控室に掲示し、今後の議会活動の参考にさせていただきたいと思えます。

これからも市政・市民の皆様のために、議員一同頑張っていきたいと思っております。今後とも、傍聴よろしく願います。

市議会を傍聴してみませんか



次の定例会は  
6月2日(月)  
からの予定です。

編集 後記

一年を通して一番過ごしやすい「春」。宮若市の元気な子どもたちは、この「春」に、様々な経験をすることでしょう。

慣れ親しんだ教室や校舎、お世話になった恩師や友人との別れ、そして、人生を大きく左右する新たな出会いと「心」揺れ動く様々な思い出を、また新たな季節がここにありま

す。さあ、自分の掲げた目標に向って、ここからスタートです。それぞれ道は違えども、目標を見失わなければ、きつと勝利の女神は微笑んでくれることでしょう。

弓削田 敬